



# 第2回講座 地域を知ろう!! 地域調査と分析・課題設定

日時：7月29日（火）18:30~21:00  
 会場：なは市民活動支援センター 会議室①  
 参加：受講生28名・チアーズ8名



なは市民協働大学院の第2回講座が7月29日に開催されました。講座タイトルは『**地域を知ろう!!地域調査と分析・課題設定**』。講師に社会福祉士・防災士・メディアコメンテーターの稲垣暁さんとNPO法人まちなか研究所わくわく代表理事の宮道喜一さんをお迎えしました。第2回講座は、講話と受講生同士のワークやディスカッションを通じて、気になる出来事を「誰のための課題なのか」と問い直し、チームで共有して「地域を知り、テーマ・エリア・対象・課題を設定する」時間となりました。

## 現状・問題・課題をどう見分ける？

事務局からは、企画づくりの基本となる「現状・問題・課題」の整理が示されました。

- ・**現状**：現在の状況のこと  
起きていること・現象
- ・**問題**：ビジョンと現状とのギャップ・何が困るのか？
- ・**課題**：ギャップを解消するために取り組むべきこと

「少子高齢化」を例にとりながら、「現状認識の精度が行動の

方向を決める」と強調。参加者の表情も真剣そのものでした。



## 地域に耳を傾ける

社会福祉士でメディアコメンテーターの稲垣暁さんは、曙地区を題材に「高齢ドライバーの

社会的リスク」が課題に至るまでのプロセスを紹介。

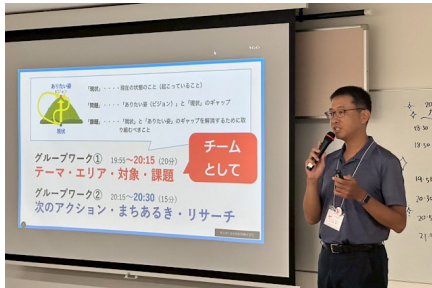


「気づき」を「課題提起」に変えるには、データや行政への取材、住民への聞き取りなど多角的な調査が欠かせません。そし

で何より大切なのは、「それは誰にとっての課題なのか」を明確にすることだと語りました。

## グループごとの挑戦

後半は宮道喜一さんの進行でグループワーク。各エリアごとにテーマや課題を話し合いました。

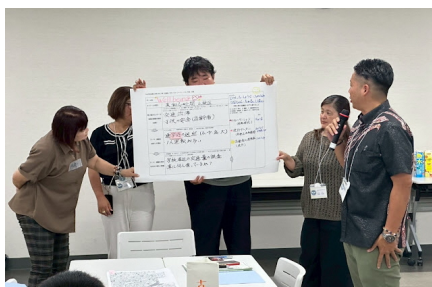


## 各チームの発表内容

1. 中心市街地チーム：地域のコミュニケーション不足



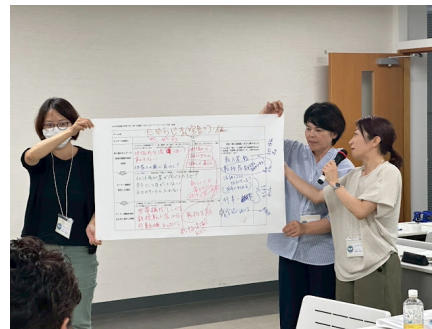
2. 真和志チーム：交通渋滞と子ども・高齢者の安全



3. 大道（真和志）チーム：子どもの安全と夜間環境



4. 小禄チーム：地域内交流の希薄化



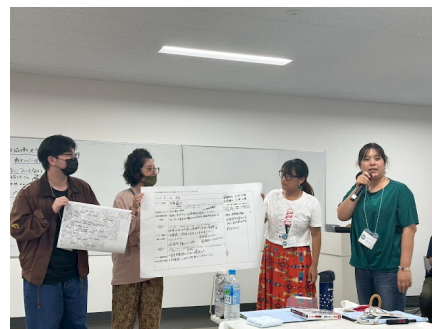
5. 首里末吉チーム：高齢者の居場所づくり



6. 新都心チーム：防災をきっかけとしたつながり



7. (首里) チーム3/4：子どもの貧困と不登校



多くのチームが「交流」や「子ども」に焦点を当てました。

## 講師からの総評

稲垣さんは「皆さんが挙げたものは、本当に課題なのか？そして誰にとっての課題なのか？」と問いかけ、当事者が困っていない場合でも向き合う意義があると指摘しました。

宮道さんからは「誰が困っているのかを具体化する」「“つながり”“活性化”などの抽象的な言葉を掘り下げる」「既存の活動を発見し、連携する」という3つのヒントが贈られました。

## お知らせ・次回予告

・東京大学主催「COGチャレンジオープンガバナンス」参加案内



・宿題：まち歩きやヒアリングの実施と記録共有。地域に足を運び、自分たちの目と耳で確かめることが求められます。

・第3回講座（8月19日）：玉城陽平さんによる「オープンデータと生成AIを地域づくりに活かすコツ」

## 相談会

9月2日（火）

## 第4回講座

9月16日（火）